

参加
無料

多様な 知の創出を加速する データサイエンス

地球環境変動やSDGsなど、これらの社会課題や地球規模課題の解決に向けては、多様な研究者の参画により、あらゆる分野の科学技術に関する知見を総合的に活用し、的確な対応を図ることが求められます。

生命、地球環境、人間社会の複雑な現象の解明にデータサイエンスを通して挑む情報・システム研究機構では、「多様な知の創出を加速するデータサイエンス」をテーマとする18回目のシンポジウムを開催いたします。

データサイエンスやデジタルヒューマニティーズの可能性に係る招待講演に加え、当機構における多様な研究成果をご紹介します。

学生から一般の方々まで、広くみなさまのご参加をお待ちしております。



木部 暢子
人間文化研究機構 機構長



山極 壽一
総合地球環境学研究所 所長

日時

12月23日(金)

13:00~17:40

開催形式

オンライン配信

Zoomウェビナー & YouTube Live

申込者については後日アーカイブ配信を予定

参加申込

2022年度シンポジウム特設サイト

<https://sympo2022.rois.jp/>

上記サイトの参加申し込み画面からお申込みください



プログラム

予告なく変更する場合があります。

開会挨拶	理事 椿 広計	招待講演2	デジタル・ヒューマニティーズによる新たな知の創出 —人間文化研究機構の取組— 人間文化研究機構 機構長 木部 暢子
来賓挨拶	文部科学省(予定)	一般講演3	相手とちょうどいい距離感でチャットできる ポライトエージェント 国立情報学研究所 教授 山田 誠二
基調講演	ROISにおけるデータサイエンス促進の取り組みについて 機構長 藤井 良一	一般講演4	生命医学における多様なデータの統合と 俯瞰からの探索的な知の創出に向けて データサイエンス共同利用基盤施設 特任准教授 片山 俊明
招待講演1	データサイエンスの可能性と不可能性 総合地球環境学研究所 所長 山極 壽一	一般講演5	なぜ今、統計エキスパート人材育成か? 統計数理研究所 特任教授 千野 雅人
一般講演1	生物多様性を生み出す遺伝基盤 国立遺伝学研究所 教授 北野 潤	質疑応答・ラウンドテーブルディスカッション	
一般講演2	過去約100年間における北極域の気候変化と雪氷圏への影響 — ArCS II北極域研究加速プロジェクトの成果から — 国立極地研究所 特任教授 青木 輝夫	閉会挨拶	戦略企画本部 副本部長 宮里 義彦
	質疑応答・ラウンドテーブルディスカッション		